



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和3年5月31日

5月号



できることを一つずつ

校長 中川 季賢

「おはようございます！」毎朝、玄関で健康観察のため立っている先生方と生徒たちの間で、さわやかな挨拶が飛び交います。これが、コロナ禍における学校の1日の始まりです。昨年後半、学校が行動レベル2になってからこの習慣が続けられています。学校だけではなく、社会全体で今までになかった新しい日常が送られています。

振り返りますと、4月末には修学旅行に行くことができました。本校最高学年である3年生の活躍と成長を見ることができた貴重な3日間でした。集団で行動すると、成功体験だけではなく、さまざまな失敗も経験することがあります。例えば、函館山の売店では、感染症防止対策として入場制限がかけられていました。思いのほかお土産を買うのにも時間がかかります。そうした経験を通して生徒たちは、行動に必要な時間感覚を修正していきます。「為すことによって学ぶ」これが学校行事で得られる大きな財産といえます。

感心したこともあります。日常生活に比べ、バスの運転手やガイドさんなどに対する挨拶に、元気が見られないなど思う場面がありました。どうやら、近い距離で大きな声で挨拶をするのは感染リスクを高めてしまうのではないかと遠慮していたようです。その思慮深さに、きっと小さい頃からよい教えを受けてきたのだなと思いました。

今月に入り、北海道が緊急事態宣言の対象になったことから、29日に予定していた体育大会も延期をせざるを得なくなりました。生徒・保護者の落胆はもちろんのことと思います。私自身も赴任して初めての西中伝統の体育大会が見られることを楽しみにしていただけに、残念でなりません。

しかし、今年度入学式や修学旅行のように、昨年度に比べ、工夫することで、できることが増えてきています。時期を変更してでも、できることを信じて日常の教育活動を進めていきます。今は、「できることを一つずつ」着実に進行時期と考えています。一方で、万が一に備え、ICTを活用した指導準備も少しずつ進めています。今後ともご家庭と連携して参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。また、改めて下記についてお願いいたします。



- ・感染予防対策の徹底（三密を避ける・マスク着用・手洗いや手指消毒など）
- ・お子さんを含めた家族内の健康観察
- ・不要不急の外出を控える など

新型コロナウイルス感染症には、いつ感染してもおかしくありません。もし、自身が感染した立場になったことも想定し、不確かな情報に翻弄されることなく、子どもたちなどへ思いやりの心をもって対応いただきますよう、お願いいたします。

富良野市立富良野西中学校ZERO運動『いじめZERO基本方針』

いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの生徒にも起こり得ます。いじめは、いじめを受けた生徒がその心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせる恐れがあるという認識に立ち、本校の生徒が、楽しく豊かな学校生活を送ることのできる、いじめのない、いじめを決して許さない学校をつくるために、「富良野市立富良野西中学校『いじめZERO基本方針』」を策定しています。その概要を掲載いたします。



◎「いじめ」を未然に防止します。～そのために

日常的に学級や集団の中で「いじめ」の問題について触れるなど、すべての子どもに対して継続的な働きかけを行います。

<校長・教頭は>

- 全校集会などで、校長が日常的に「いじめ」の問題について触れ、「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を作り学校全体に醸成します。
- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育や人権教育の充実、読書活動、体験的活動などの推進等に計画的に取り組みます。
- 生徒が自己有用感を得られる場面や困難な状況を乗り越えられるような体験の機会を積極的に設けるよう教職員に働きかけます。
- 「いじめ」の問題に生徒自らが主体的に参加する取組を推進します。（例、生徒会による「いじめZERO運動」や相談箱の設置など）

<生徒指導担当教員は>

- いじめの問題について校内研修や職員会議で積極的に取り上げ、教職員間の共通理解を図ります。
- 日頃から関係機関等を定期的に訪問し、情報交換や連携に取り組みます。

<養護教諭は>

- 学校保健委員会等、学校の教育活動の様々な場面で命の大切さを取り上げます。

<学級担任は>

- 日常的に「いじめ」の問題について触れ、「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を作り学級全体に醸成します。
- はやし立てたり、見て見ぬふりをしたりする行為も「いじめ」を肯定していることを理解させ、「いじめ」の傍観者から「いじめ」を抑制する仲介者への転換を促します。
- 一人一人を大切にしたい分りやすい授業づくりを進めます。
- 教職員の不適切な言動が生徒を傷つけたり、他の生徒による「いじめ」を助長したりしないように、指導の在り方には細心の注意を払います。

◎「いじめ」を早期に発見します。～そのために

定期的な調査や、ささいな兆候（ふざけに見えるような“気になる行為”）等にもアンテナを高く保つようにします。

<校長・教頭は>

- 生徒及びその保護者、教職員が「いじめ」に関する相談を行うことができる体制を整備します。
- 学校における教育相談が、生徒の悩みを積極的に受け止められる体制となり、適切に機能しているか、定期的に点検します。

<生徒指導担当教員は>

- 定期的なアンケート調査や教育相談の実施等に計画的に取り組みます。
- 保健室やスクールカウンセラー等による教育相談の利用、電話相談窓口について生徒や保護者に周知します。
- 休み時間や昼休みの校内巡視や、放課後の校区内巡回等において、子どもが生活する場の異常の有無を確認します。

<養護教諭は>

- 保健室を利用する生徒との雑談の中などで、その様子に目を配るとともに、いつもと何か違うと感じたときは、その機会を捉え、悩みを聞くようにします。

<学級担任は>

- 日頃からの生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が示す小さな変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保ちます。
- 休み時間・放課後の生徒との雑談や日記等を活用し、交友関係や悩みを把握します。
- 個人面談や家庭訪問の機会を活用し、教育相談を行います。

※「いじめ」かな？と疑われる情報があれば、学校に置かれた「いじめZERO対策委員会」へ伝えて組織的に対応していきます。

◎校内体制について 「いじめZERO対策委員会」

(1) 構成

校長 教頭 生徒指導部長 教務主任 特別支援コーディネーター 学年主任 養護教諭
外部専門家（スクールカウンセラー等）<教育委員会 学校教育課 子ども未来課（富良野警察署）>

(2) 業務内容

本校における「いじめ」の未然防止、早期発見、早期解決等、「いじめ」問題の防止や対応に向けた取組

- ・ 学校基本方針に基づく取組の実施や具体的な年間計画の作成・実施・検証・改善などの中核としての役割
- ・ 「いじめ」の相談・通報の窓口としての役割
- ・ 「いじめ」の疑いに関わる情報や生徒の問題行動に関わる情報の収集と記録、保管を行う役割
- ・ 「いじめ」に関係する生徒への事実関係の聴取、指導や支援の体制・対応方針の決定と保護者・関係機関との連携といった対応を組織的に実施するための中核としての役割



5月の西中

ZERO 運動月別目標
「自分の行動に責任をもとう」

月別 保健目標
「自分のからだを知ろう！」

※4月下旬の内容も含まれています。

— 修学旅行 —

4月27日(火)～29日(木)、感染症対策を講じながら2泊3日の日程で修学旅行を実施しました。1日目に函館まで行きましたが、ちょうど桜が満開であり、さらに函館山からの夜景もきれいに観ることができました。2日目は函館自主研修を行いました。総合的な学習の時間を活用し、事前に班で函館の町を調べて当日を迎えました。生徒一人一人が班行動を意識しながら、いつもと違う土地、自然、文化に触れ学習することができました。3日目はルスツで仲間と思う存分楽しみ、絆を深めました。

修学旅行という大きな宿泊行事を通して、生徒はさらに一回り成長しました。今回得た経験をもとに、これからも西中の最上級生として主体的に生徒会活動を引っ張ってってくれるものと期待しています。



— 道徳の授業より —

富良野西中学校では、生徒が自主性を身に付けたり、思いやりの心を育成するため、積極的に道徳の授業に取り組んでいます。その中で、先日、東栄養教諭が1学年の授業者となり、食育を兼ねた授業を展開しました。生徒は、「毎日、大変な思いをしながら給食をつくってくれていることを実感しました。これからは感謝の気持ちを持ち、残さず食べたい。」等の感想を寄せていました。



また、道徳の授業を通して、級友の意見を参考にしながら自分の考えを深めたり、教材に登場する人物を自分に投影し、自分ごととして考えたりする場面も見られました。

学校として、これからも充実した道徳の時間となるよう努めてまいります。

— iPad time —

4月より一人に一台ずつ iPad が貸し出されました。西中は、生徒が教育活動を高める道具の一つとして使いこなせるよう、日課表に『iPad time』を設け、短い時間でも毎日使うようにしています。また、総合的な学習の時間を活用して iPad を使いながらポスター作成等も行っています。生徒は、iPad に慣れるのが早く、目に見えて上達しています。一人一台端末により、たくさんの情報が入ってきます。その多くの情報から自分に必要なものを選び、活用する力が必要になってきます。

学校は家庭と連携しながら、生徒が使用上のルールを守り課題を解決するための活用場面をつくっていきたいと思います。



— 教育実習 —

本校の卒業生でもある野呂一生さんが、5月17日(月)から3週間の日程で教育実習を行っています。教科は音楽で、特に作曲が専門です。授業では、iPadを活用してメロディの創作を行っていました。教育実習は6月4日(金)まで続きます。『一期一会』、野呂先生にとっても、生徒の皆さんにとっても、今回の出会い、そして関わりがこれからの人生にプラスになることを期待しています。



スクールサポートスタッフ、学習指導員を募集しています。興味のある方は学校(TEL: 22-2318)または富良野市教育委員会までご連絡ください!!

【お願い】新型コロナウイルス感染症について、万が一、お子様や同居家族が感染したり、濃厚接触者になった場合は、学校にご連絡ください。(個人情報には十分、配慮いたします)。

- 1 (火) 教育相談(～7日)
- 8 (火) 市教研班研修
- 10 (木) 全校集会(陸上壮行会)
- 11 (金) 中体連陸上大会
漢字検定
- 16 (水) 職員会議
全国学力経年変化分析調査(3年)

- 17 (木) 常任委員会
- 21 (月) 避難訓練
校内研修 学年会議
- 24 (木) 全校集会(中体連壮行会)
※各部写真撮影
- 25 (金) 中体連球技等大会(～26日)
- 27 (日) 英語検定(二次)

※コロナ禍のため延期になっている健診があります。日時が決まりましたらご連絡いたします。

※緊急の連絡やお知らせ等について、マチコミメールを活用することがありますので登録にご協力ください。